

文書番号 : ISMS-04-01

セキュリティホワイトペーパー

ベネックスソリューションズ株式会社

2022年11月1日 Ver.1.0

はじめに

1.1 ホワイトペーパーの目的

このホワイトペーパー（以下、本書）は、ベネックスソリューションズ株式会社（以下、当社）が提供する「Beepoch クラウドサービス」におけるセキュリティの取り組みを、サービス利用者の方に向けてご確認いただくことを目的としております。

1.2 責任分界点

Beepoch クラウドサービスは、Microsoft Azure（以下、Azure）を基盤にシステムを構築しており、移動体通信事業者の回線を利用するため、セキュリティ上の責任は以下のとおりとなります。

ID/PW 管理,インターネットへの接続	利用者様の管理範囲
アプリケーション, ミドルウェア, OS, ユーザ管理	当社の管理範囲
仮想化層, インフラストラクチャ	Azure の管理範囲
通信回線	移動体通信事業者の管理範囲

2 個人情報保護の取り組み

2.1 P マーク取得

当社は、2022 年 7 月に個人情報保護の国内規格である P マークを取得しております。「Beepoch クラウドサービス」が保有する個人情報情報資産を機密性、完全性、可用性の観点から維持・改善するために、事業内におけるセキュリティルールを確立し、継続的に運用、監視、改善を行っております。

2.2 クラウドコンピューティング環境

「Beepoch クラウドサービス」は、クラウドコンピューティング環境として Azure を採用しています。Azure は、クラウドシステム運用の多くの実績があり、そのノウハウやサービスの継続的な改善や機能追加にも力を入れています。また、P マークの認証を受けており、Azure が「Beepoch クラウドサービス」の基盤として適切であると判断し、利用しております。Azure のセキュリティ対策については、下記 URL をご参照ください。

Azure クラウドセキュリティ：

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/category/security>

2.3 アカウント管理

お客様のアカウント管理、ユーザ登録・削除、パスワードの登録・削除は弊社が管理しており、必要に応じて登録内容を変更致します。

2.4 サービス内におけるアクセス制限

管理者権限を保有している方によって、利用の制限を行うことができます。

2.5 特権的なユーティリティプログラムの使用

管理者にアカウント作成の機能を提供しており、使用状況をチェックしています。

2.6 データの保管場所

お客様のデータ並びにバックアップは、Azure の日本国内リージョンに保管されます。

2.7 データの利用

法律上必要な場合を除き、保存されているお客様のデータを当社が利用することはございません。

2.8 データの削除

契約が終了した場合、契約終了から 90 日以内にお客様のデータは完全に消去され、復元できないようになっております。尚、データ削除の証明書に類する書類は発行しておりません。

2.9 アクセスコントロール

「Beepoch クラウドサービス」は、当社内外問わず悪意のあるユーザからの攻撃を防ぐために、必要最小限のポート開放と、事前に許可された IP アドレスだけがサービスにアクセスできる仕組みを導入しており、故意・過失による不正アクセスの可能性を抑制しています。また、ログイン画面を有しており、ある利用者が他の利用者のデータコンテンツにアクセスできないようにアクセス制御を行っております。

2.10 暗号化の状況

「Beepoch クラウドサービス」のデータは、データベースに暗号化され保存されています。また、一般に公開される利用サービスについては暗号化されます。

2.11 バックアップの状況

データベースに保管されるお客様の各種情報（氏名、電話番号、各機能で利用するデータなど）は、定期的にバックアップを取得しています。

2.12 クロック

システムで使用しているクラウドサービスのクロックは NTP (Network Time Protocol) サーバを使用しており、タイムゾーンは日本時間となっています。

2.13 ログに関する情報

「Beepoch クラウドサービス」は、情報セキュリティポリシーに従い、最低 3 か月間のシステムログを保存し、監視を行っています。尚、お客様の承諾なしに利用することはございません。

2.14 情報のラベル付け

保存されたデータに対してラベル付けを行う機能は提供しておりません。

2.15 サービスのバージョンアップ

お客様のセキュリティに影響を与えてしまう可能性のある変更は、実施前にご提供いただいたメールアドレスに対し、メールにてご連絡いたします。

2.16 開発におけるセキュリティ情報

「Beepoch クラウドサービス」のシステム開発には、主に PHP が用いられています。開発は、脆弱性対応を考慮し、IPA 情報処理推進機構が提供するガイドライン等、一般的なセキュリティ対策基準に従って実施されます。

2.17 インシデント発生時の対応

お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント（例：データの消失、長時間のシステム停止等）が発生した場合は、インシデントが発生してから 72 時間以内を目標に、「Beepoch クラウドサービス」利用契約時にご提供頂いた組織管理者のメールもしくは電話に連絡します。

2.18 適用法令

お客様と当社との間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。Azure に適用される法域については、準拠法は日本法で、裁判所は福岡地方裁判所になります。

【改訂履歴】

本書の改訂履歴は以下のとおりです。

Ver.	発行日	改訂内容	改訂者	承認者
1.0	2022/11/1	制定		